

始良市衛生協会だより



環境学習バスツアー

ごみ削減やリサイクル、経費などについて学ぶ

2月27日（土）に環境学習バスツアーを実施しました。これは環境問題に対する理解と関心を深め、積極的に環境保全活動を行う意欲を高めるために行ったもので、29名が参加しました。

まず、あいら清掃センターの視察ではごみが焼却処分される工程を学びました。会場では焼却処分のための経費やごみ分別の必要性などに関する質問があげられました。



可燃ごみの処理に関する説明を受ける様子▶

その後、施設内での見学では、間近でごみが焼却される様子から、自分たちの生活で大量のごみが発生していることを実感していました。



中央制御室での様子



可燃ごみに混入した金属や陶磁器などの量に驚く様子

次に鹿児島中央資源化センターでは、ごみを少しでも減らし、再資源化するために始良市で取り組んでいる不燃ごみや粗大ごみのリサイクルについて学びました。



可燃性の粗大ごみをRPF化する工程を学ぶ様子



排出された大量の不燃ごみが保管されている様子

ツアー最後のごしま環境未来館では、今現在、地球規模で発生している環境に関する問題や、これまで人間が行ってきた行為やその代償について学ぶとともに、これから私たちが何をやっていくべきかを考える良い機会となりました。



飢餓や水質汚染などに苦しむ世界の子どもたちの現状を写真から感じとる様子



日本の原風景を思い起こしながら環境について学ぶ様子

◆参加者の感想◆

- ★大量のごみが処理されること、また、それに比例して多くの処理費が税金からまかなわれていることが分かった。
- ★可燃ごみの中に多くの金属などが混入していることにびっくりした。
- ★市民一人一人がごみ減量や分別に取り組んでいかなければならないと感じた。
- ★余分な物は買わないように習慣を見直したい。
- ★地球規模での環境問題にも認識を深め、環境に配慮した行動に努めたい。
- ★個々の力は微力でも、積み重なれば大きなものになると感じた。



始良市衛生協会は、
年間100トンの衣類の
再資源化を目指します

これからの季節、引越しや衣替えなどで不要な衣類がありましたら、衣類リサイクルにご協力ください。始良リサイクルセンターをはじめ、市内6か所の資源物集荷所で衣類を回収しています。



ごみステーションの鳥獣対策及び飛散防止対策が進む

平成 25 年度から衛生協会の事業として始めました「ごみステーション用金属製ボックス及びネット購入助成金」ですが、今年度は、延べ 43 の自治会が、21 基の金属製ボックスと 38 枚のネットを購入し、その費用の一部 567,800 円を助成しました。



金属製ボックス

助成開始からの 3 年間で 64 か所のごみステーションで対策（金属製ボックス 14 か所、ネット 50 か所）がなされ、さらに 110 か所のごみステーションで対策が強化されました。

また、始良市では、ごみステーションに設置するごみ箱用の資材を配布しています。腐食に強い注入材やブロックなどを活用し、地域に応じたごみ箱を製作している自治会もあります。



注入材とネットで製作したごみ箱



協会理事 21 名が参加。紙類リサイクルの現場を学ぶ

1 月 28 日、協会の理事が本市から排出された紙類のリサイクルを行っている日本製紙(株)八代工場の施設を視察し、研修を行いました。

まず、工場内を視察する前に紙リサイクルの歴史や日本製紙の変遷、八代工場の概略などの説明を受けました。

八代工場では、新聞用紙や印刷用紙、情報用紙などを生産し、その年間生産高は 50 万トンです。新聞用紙は、九州各新聞社の販売シェア 68% を誇り、印刷用紙は国内年間使用量の約 13% を生産しているほどの大規模な工場です。



八代工場の概要について説明を受ける様子

次に約 3 万 3 千 m² の敷地内の各施設の視察を行いました。

一日に約 630 トンの古紙パルプを再生利用するため、その材料となる古紙類を回収し保管することは重要な業務であり、約 1 週間程度は工場が稼働できるように非常に多くの古紙類が保管されていました。

古紙類が古紙パルプに再生される様子▶



◀九州各地から集められた古紙類 1 つの塊で約 1 トンの重さ

次に世界トップレベルの新聞用紙専抄マシン「N2 マシン」が稼働している施設を見学しました。

これは、幅約 9 m の新聞用紙を時速約 100km の速さで製造することができるマシンで、九州一円の新聞各社に毎日、新聞用紙を納入しているそうです。

最後に研修を終えた理事から「これほど大規模な工場であるにも関わらず、悪臭や騒音、排水などに配慮した素晴らしい運営に感動した」「地域に根ざした環境づくりの参考にしたい」などの意見が出されました。

紙類の資源化量を増やし、ごみ減量とリサイクル率向上のため、紙類リサイクルを協会でも推進します。

問合先

衛生協会事務局

市役所本庁 生活環境課 生活環境係 TEL66-3111(内線144)